

# 発掘ニュース

第 16 号

昭和 62 年 11 月 30 日

発行 財団 法人 いわき市教育文化事業団

## しも ひら いし い せき 下 平 石 遺 跡

### — 縄文時代前期から中期の集落跡の調査 —

下平石遺跡は、いわき市南部の田人町旅人字下平石にあります。今回この遺跡を調査することになったのは、下平石遺跡の中に県道を通すことになり、遺跡を保存しておくことができなくなつたからです。先祖の残してくれた文化財を後世に記録として残すために、発掘調査をすることになりました。

調査は昭和62年9月22日から約2箇月の予定で行われました。調査した面積は、約 650m<sup>2</sup>です。下平石遺跡は縄文時代前期から中期（今から6000年前～4000年前）にかけての遺跡です。竪穴住居跡3棟、土坑22基が発見され、内部には、当時の人々が使用した土器や石器などの道具が残っていました。

下平石遺跡の発掘調査により、田人町には縄文時代前期から人々が生活していることがわかりました。以下、下平石遺跡の調査成果を御紹介いたします。



第1図 下平石遺跡全景

下平石遺跡からは、住居跡の他に、食料を保存した土坑（どこう）や、縄文土器を埋めた土坑などが見つかっています。食料を入れた土坑は、直径1m、深さ1~1.5mぐらいで、底に広がるものもあります。この中に、木ノ実を入れていたと考えられます。

下平石遺跡から出土した遺物は、ほとんどが縄文土器です。これは、表面に縄文を回転させて文様とした土器ですが、さらにその上に線や粘土の紐などで装飾しているものが多いのです。第4図の土器は縄文時代中期の土器です。これは関東地方の土器と同じ文様で描かれており、田人が関東地方と交流していたことを教えてくれます。

縄文時代の遺物には土器の他に石器が多く出土します。下平石遺跡からは石鎌、石斧（せきふ）、石皿（いしざら）、磨石（すりいし）、石錐（せきすい）などが出土しています。特に、

木ノ実をすりつぶして調理するのに使った石皿や磨石が多く出ています。

当時の食生活を知る上で貴重な手掛かりとなることでしょう。

この他に、平安時代の土器も少しですが出ています。ロクロを使った土器で、窯で焼いて作られたものもあります。



第3図 第11号土坑



第4図 縄文土器出土状況



第5図 磨石出土状況

## 縄文人のくらし

下平石遺跡から見つかった家の跡は3棟あります。縄文時代の家は、地面を掘り下げて床をつくり、柱を立てています。屋根はカヤなどの草で葺いていたようです。このような家を竪穴住居跡（たてあなじゅうきょし）と言います。形は円形や四角形で、この遺跡からも、その両方が出ています。

家の中には照明と調理のために炉が設けられていて、地面が赤く変色しています。そして、そのまわりには、煮炊きや盛り付けに使った土器や、獣をとるための弓矢の先（鏃＝やじり）などの石器が出て来ます。

第2図は下平石遺跡第3号住居跡と呼んでいる家の跡です。形は円形ですが南側が調査していないので半円形になっています。炉の跡は、家の中心から南にずれていて、土器を埋め込んでいました。家中からは土器がたくさん出てきました。縄や線で文様が描かれていて、この文様から、縄文時代中期頃の土器とわかります。



第2図 下平石遺跡第3号住居跡

## 一下平石いせきを見学して――

田人一小 四年 宗田 貞治

ぼくは、科学クラブで下平石いせきの見学に行きました。前にも科学クラブで見学に行ったので、今度で二度めでした。この前とくらべてどんな物がはつくつされたか早くみたいと思いました。

はじめに、ハウスの中に入り話を聞いたり、何がはつくつされたか早く見てみたいと思いました。矢じりやまないた、ナイフに使った物などいろいろ見せてもらいました。

田人の古代人は、どんな生活をしたのだろう。けもののがりは、どんなふうにしたのかなどいろいろ想ぞうしました。

次は、外に出てはつくつげん場を見ました。もとの形のままの土器や家の柱のあとをみました。

はつくつの中の所を見ると、六十センチメートルくらいの土がほりさげてありました。小さな物でも見おとさないように、土器などこわさないように、少しづつほりおこしていく作業は、たいへんなことだと思いました。こうしてはつくつしたいせきは、たいせつにしなければならないと思いました。

ぼくも大きくなったらいせきのはつくつをぜひやってみたいと思います。

— 年 表 —

時代	(約1万年前)				(5千年前)				西暦1年 (2千年前)				西暦2千年 (1千年前)					
	先 土 器	縄 文							弥生	古墳	奈良・平安	鎌 倉 朝	室 町 朝	江 戸 朝				
		早 期	前期	中期	後期	晩期												
いわき市南部の主な遺跡	輪山遺跡	西ノ作遺跡	熊ノ倉遺跡	中畑遺跡	道伝館ノ内遺跡	八幡台遺跡	四沢貝塚	上平石遺跡	郡貝塚	上平石遺跡	熊ノ倉遺跡	伊勢林前遺跡	輪山遺跡	八幡台遺跡	金冠塚古墳	郡遺跡	応時遺跡	金山窯跡
	岩間町	小浜町	田人町	田人町	田人町	勿来町	植田町	勿来町	田人町	勿来町	田人町	岩間町	植田町	錦町	勿来町	勿来町	金山町	
下平石遺跡	—			○	◎	◎	○	○	—	—	—	—	—	○	◎	○	—	多いなし

編集・発行 財団法人いわき市教育文化事業団

電話 0246-23-9348

福島県いわき市平字堂根町1番地の4 いわき市文化センター5階

とじておきましょ